

アフターサービス

●保証書(別紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

本機のアップデート情報や最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2081
ver.2.2

Yupiteru

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-SV550P

取扱説明書

12V車専用

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ごぞいます。

安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。



⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源ONの状態でもmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

確認
と注意

基礎
知識

す
べに
使
つ

カ
ス
タ
マ
イ
ズ
し
て
使
つ

再
生
す
る

そ
の
他

●重要事項●



必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(=不良セクタ)が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。

1～2週間に一度SDカードをフォーマット(●P.12)することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル(保護したファイル含む)」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(●P.54)

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもメッセージ(●P.59)が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。

お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら・・・	10
SDカードをフォーマットする	12

基礎知識

各部の名称と働き	14
1. 付属品	15
2. 別売品	16
3. 付属品・別売品の購入について	16
SDカードの取り外し/装着	17
1. SDカードを本体から取り外す	17
2. SDカードを本体へ装着する	17
動画記録モード	18
録画について	19
1. 常時録画	20
2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)	20
3. ファイル容量の目安について	21
4. 上書きモードについて	22

メンテナンスについて	24
------------	----

初期値について	25
---------	----

すぐに使う

本機の取り付け	26
1. 本機を取り付ける	27
2. 電源を接続する	29
別売品の取り付け	30
1. 5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E1060)の接続方法	30
2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法	31
3. 電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法	34
電源ON～OFFまでの手順	38
1. 電源ON(録画を開始する)	38
2. 録画を停止する	39
3. SDカードをフォーマットする	39
4. 日時を設定する	39
5. 録画を再開する	41
6. ワンタッチ記録をする	41
7. 音声録音をすぐにON/OFFする	42
8. 電源OFF(録画を停止する)	42

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	43
1. 録画設定メニューを表示する	43
2. 共通設定メニューを表示する	43
3. 再生設定メニューを表示する	44
4. 録画を再開する	45
設定メニュー	46
1. 録画設定	46
2. 共通設定	49
3. 再生設定	51

再生する

録画ファイルの読み出しについて	54
1. パソコンで録画ファイルを再生する	55
動画再生モードの表示・再生方法	56
1. 動画再生モードを表示する	56
2. 本機で録画ファイルを再生する	56
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する	57
4. 録画を再開する	57
動画再生モード	58

その他

こんなときは	59
故障かな?と思ったら	60
仕様	62
microSDカード対応一覧表	64
1. 録画時間の目安	64
索引	65
アフターサービス	裏表紙
1. お客様ご相談センター	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ 裏表紙「アフターサービス」

⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

⚠ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

⊘ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ 本機を次のような場所に保管しないでください。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



⊘ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

⊘ 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

⊘ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



⊘ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。

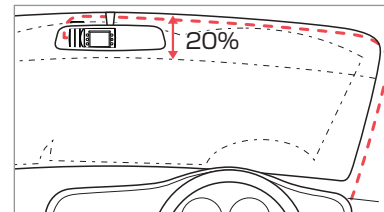
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

⚠ 警告

⚠ **取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**

※フロントガラスの下縁から15cm以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。

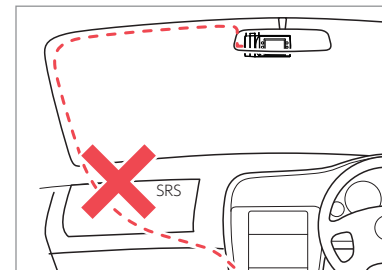


⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

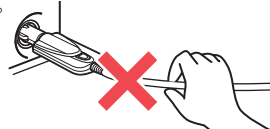
- ❗ 取り付けは確実に行ってください。
また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。
- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。
感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
 交換ヒューズ
2A(20mm×5.2mm)
- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や感電の原因となります。

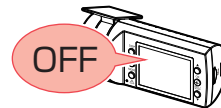

⚠ 注意

- ❗ エンジンOFFしてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- ❗ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。


●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。
このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。
- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。
- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。
乾いた布などでふくとキズの原因となります。
- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❗ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。


使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 液晶パネルに関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。
- ・ 一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ SDカードに関する注意

- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんがその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 日時保持用電池に関する注意

- ・ 本機は日時を保持するために本体内部に電池を搭載しています。初めて使用する場合や、長期間(3ヶ月以上)使用していなかった場合は、2時間程度走行して日時保持用電池の充電を行ってからご使用ください。また、日時保持用電池は消耗品のため十分な充電を行っても日時情報が保持されない場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

・保管場所について・・・

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

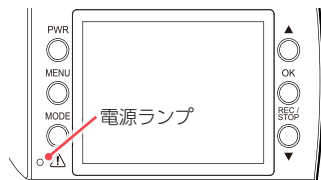


・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

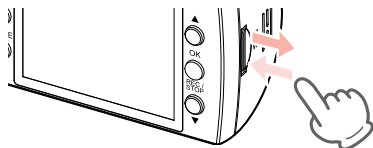
■ 付属品のシガープラグコード接続時

付属のシガープラグコードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする、またはPWRボタンを長押しする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認します。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

1 車両のエンジンをOFFする、またはPWRボタンを長押しする

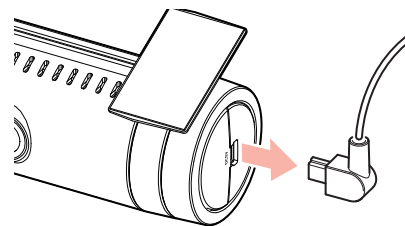
駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

駐車時に事故が起きた場合

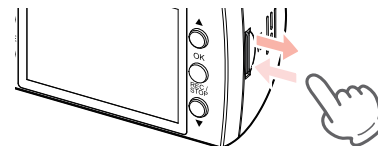
「2. 本体のDCジャックから電源コードを取り外す」へお進みください。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認します。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマット(初期化)してください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップ(● P.54)などしてからフォーマットしてください。

※エラーメッセージ(● P.59)が表示されている場合は、OKボタンを押してからフォーマットを行ってください。

SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



電源ランプ

録画を開始します。
電源ランプが点灯し、記録マーク
「●REC」(赤)が点滅します。

2 OKボタンを押す



電源ランプ

録画を停止します。

※録画停止中は、電源ランプが点滅し、
記録マークを消灯します。

3 MENUボタンを押す



録画設定画面を表示します。

4 MENUボタンを押す



共通設定画面を表示します。

5 [SDカードフォーマット]を選択し、OKボタンを押す



8 OKボタンを押す



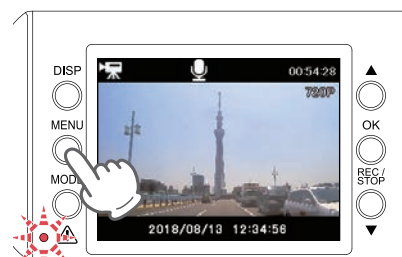
録画を再開します。

6 [実行]を選択し、OKボタンを押す



フォーマットを開始します。
「フォーマット中」表示と音が鳴り、
共通設定画面へ戻ります。

7 MENUボタンを押す

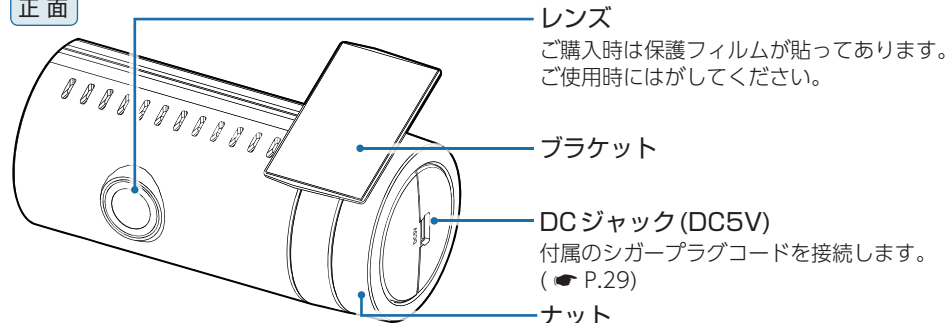


動画記録モードに戻ります。

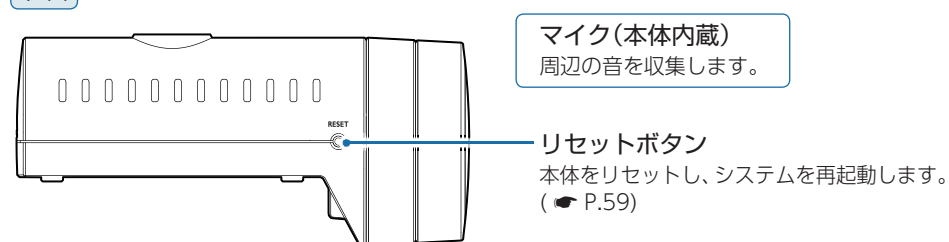
各部の名称と働き

■ 本体

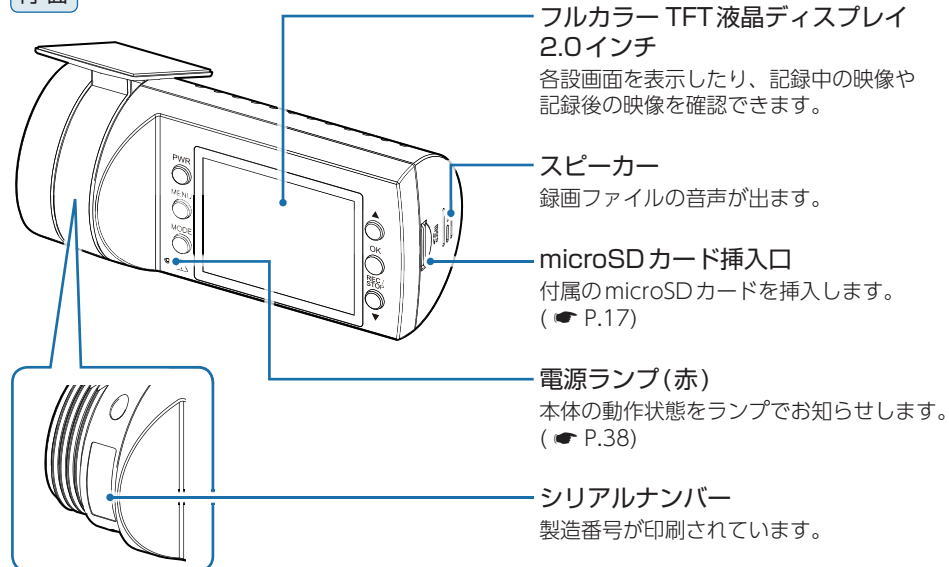
正面



下面



背面



操作ボタン

PWR ボタン

押すと電源 ON、長押しで電源 OFF します。

MODE ボタン

常時録画中に押すとワンタッチ記録をします。(● P.21)
録画停止中に押すと動画再生モードを表示します。(● P.58)

MENU ボタン

録画中に押すと音声録音の ON/OFF をします。(● P.42)
録画停止中に押すと録画設定を表示します。(● P.46)

OK ボタン

録画中に押すと録画を停止します。
録画停止中に押すと録画を開始します。
エラーメッセージ表示中に押すと、非表示にすることができます。

△ボタン

項目や設定値を選択します。

▽ボタン

項目や設定値を選択します。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット 1

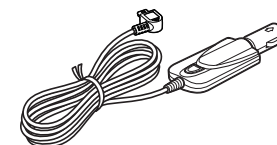
■ ナット 1

■ 両面テープ (● P.15) 1
(ブラケットに使用します。)

■ microSD カード (8GB) 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 保証書 1

■ 5V コンバーター付シガープラグコード (約 4 m) (● P.29) 1



- ・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。ただし、microSD カードなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

- ・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

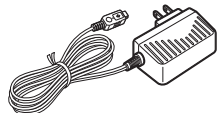
■ マルチバッテリー OP-MB4000^{*1} 本体 23,000円 + 税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間)(☛ P.31)

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1

■ ACアダプター OP-E368 本体 3,000円 + 税

ご家庭で使用することができます。



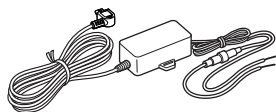
■ 電圧監視機能付 電源ユニット OP-VMU01^{*1*2} 本体 6,000円 + 税

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(☛ P.34)

本体	1
入力コード	1
両面テープ	1

■ 5Vコンバーター付電源直結コード(約4m) OP-E1060本体 2,000円 + 税

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。(☛ P.30)



※1：別売品5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E1060)が必要になります。

※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class6」以上)

⚠ 注意

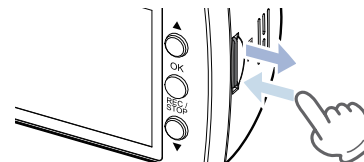
- ・電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。詳しくは、☛ P.11を参照ください。

- 1-1 車両のエンジンをOFFする、またはPWRボタンを長押しする
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

- 1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



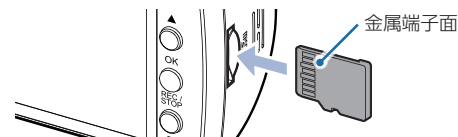
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

- 2-1 車両のエンジンをOFFする、またはPWRボタンを長押しする
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

- 2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
②	記録マーク	録画中に●(赤)と「REC」を表示し、停止中には  を表示します。
③	ファイルアイコン	ワンタッチ記録()、Gセンサー記録()時に表示します。
④	音声録音アイコン	音声録音 ON/OFF を表示します。( P.42)
⑤	記録時間	録画中に現在の映像の記録時間を表示し、録画停止中には録画可能時間を表示します。
⑥	解像度	録画する解像度を表示します。

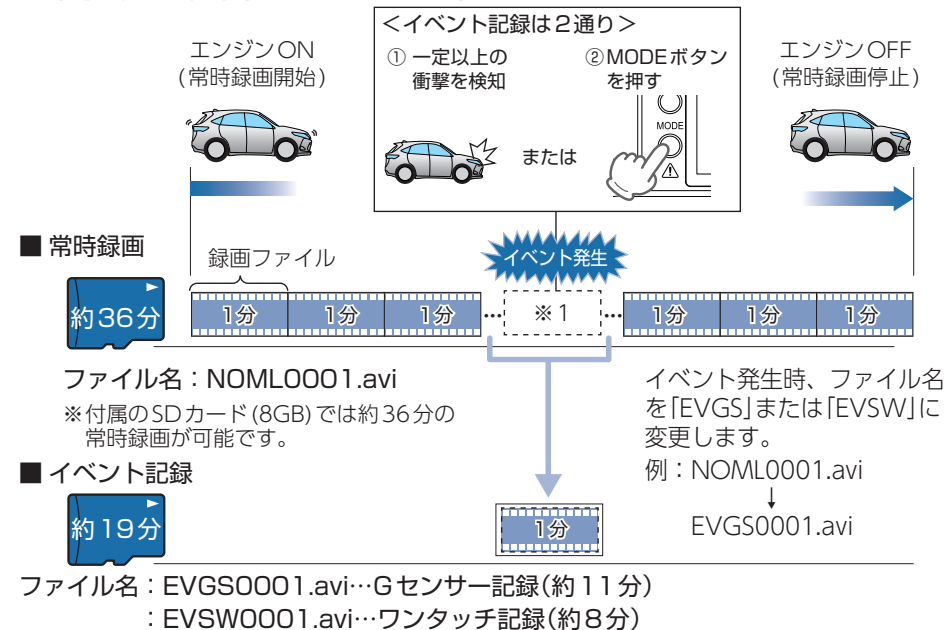
SDカードが未挿入の場合、メッセージと  (SDカード未挿入)アイコンを表示します。( P.59)

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
PWR ボタン	押すと電源 ON、長押しで電源 OFF になります。
MENU ボタン	録画停止中に押すと、録画設定を表示します。( P.46) もう一度押すと共通設定画面へ戻ります。 ※録画中は、音声録音 ON/OFF 機能となります。
MODE ボタン	常時録画中に押すと、ワンタッチ記録します。( P.21) 録画停止中に押すと、動画再生モードのファイル選択画面を表示します。( P.56)
OK ボタン	録画中に押すと、録画を停止します。録画停止中に押すと、録画を開始します。

録画について

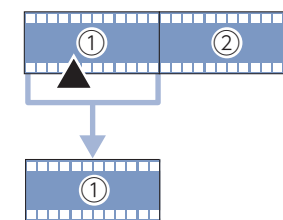
記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



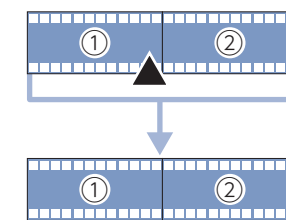
※付属のSDカード(8GB)ではGセンサー記録(約11分)、ワンタッチ記録(約8分)の合計約19分のイベント記録が可能です。

※1: イベント発生タイミングによって、イベント記録のファイル数は異なります。

● イベント発生タイミングが①の「0~50秒」の場合



● イベント発生タイミングが①の「51~60秒」の場合



・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、保護していない各記録方法の古いファイルを上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。( P.22「上書きモードについて」)

・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。

・SDカードが未挿入、またはメッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。( P.59「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動（ACC ON）からエンジン停止（ACC OFF）までの映像をSDカードに常時録画します。常時録画中は電源ランプが点灯します。

- ・ファイル名（例：NOML0001.avi）
- ・録画ファイル構成
1ファイルあたり約1分で生成します。
- ・録画可能時間
初期値（720P）で、付属のSDカード（8GB）に約36分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。（☛ P.21「ファイル容量の目安について」、☛ P.64「録画時間の目安」）
- ・上書きモード
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、36分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。（☛ P.22「上書きモードについて」）

2. イベント記録（Gセンサー記録とワンタッチ記録）

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に「ピー」と音が鳴り、イベント記録中は画面上部にファイルアイコンを表示します。

※操作音を[オフ]に設定している場合、音は鳴りません。

- ・ファイル名（例：EVGS0001.aviまたはEVSW0001.avi）
- ・録画ファイル構成
1ファイルあたり約1分です。
- ・録画可能時間
初期値（720P）で付属のSDカード（8GB）に、Gセンサー記録は約11分、ワンタッチ記録は約8分（合計約19分）の録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。（☛ P.21「ファイル容量の目安について」、☛ P.64「録画時間の目安」）
- ・上書きモード
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、イベント記録の録画可能時間（合計約21分）以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。（☛ P.22「上書きモードについて」）

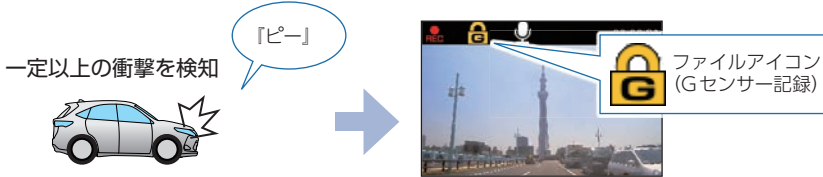
■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、常時録画「NOML」の1ファイル単位のファイル名を「EVGS」に変更し、ファイルアイコンを表示します。（☛ P.19）

※初期値では「Gセンサー記録：オン」となります。設定で「オフ」にすることもできます。（☛ P.46「録画設定」）

・ Gセンサ感度

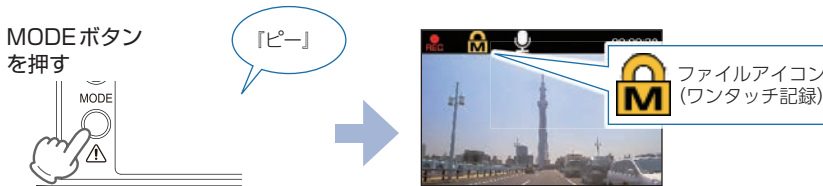
Gセンサ感度を設定することができます。初期値では、前後方向、左右方向、上下方向の衝撃感度は全て「1.0G」となります。（☛ P.46「録画設定」）



事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録

常時録画中にMODEボタンを押すと、常時録画「NOML」の1ファイル単位のファイル名を「EVSW」に変更し、ファイルアイコンを表示します。（☛ P.19）



⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

3. ファイル容量の目安について

本機は、記録方法によってSDカードのファイル容量の上限がそれぞれ決められています。

※上限を超える場合の動作は、「上書きモードについて」を参照ください。

SDカードの全容量		
常時録画 65%	Gセンサー記録 20%	ワンタッチ 記録 15%

4. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(P.46「録画設定」)

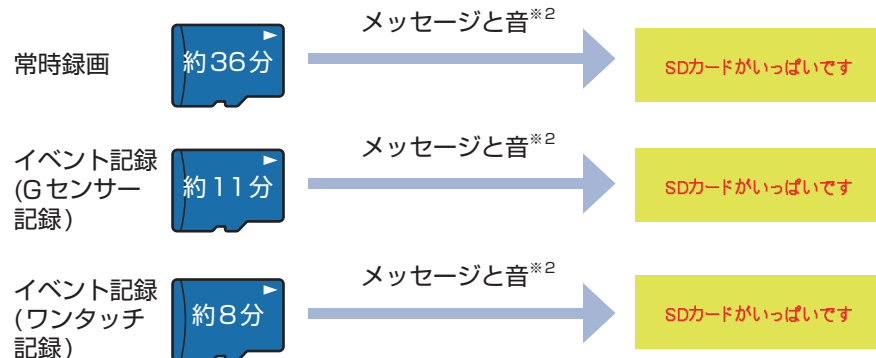
上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	保護していない常時録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き(初期値)	録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

■ 上書き禁止

常時録画、イベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での記録を停止します。

例①：イベント記録がSDカード容量の上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録もSDカード容量にかかわらず記録を停止します。

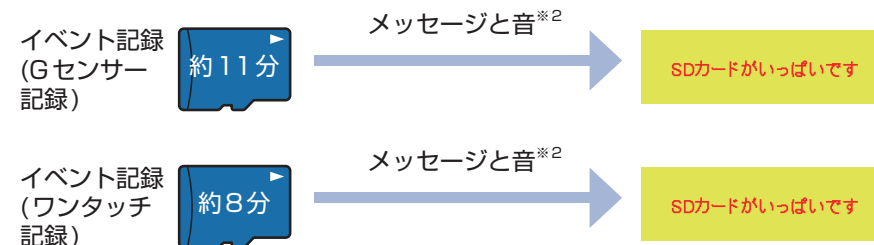


※時間はSDカードの容量により異なります。

■ 常時録画上書き※¹

SDカード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画を上書きし、録画を続けます。

イベント記録は、SDカード容量の上限に達した時点で、その記録方法での記録を停止します。



※時間はSDカードの容量により異なります。

■ 全て上書き(初期値)※¹

常時録画、イベント記録がそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、記録を続けます。

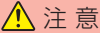
- ※¹：保護したファイル(P.53)は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除(P.51)してから削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(P.12)
- ※²：音はメッセージ開始時に数秒間鳴ります。操作音を[オフ]に設定している場合、音は鳴りません。

メッセージ表示を止める場合は、OK ボタンを押してください。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1 ～ 2 週間に一度のメンテナンス



注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.12)

■ 1 ヶ月に一度のメンテナンス

- ・日時設定 (☛ P.39)

■ 必要に応じてメンテナンス

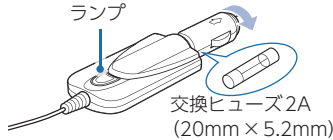
- ・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ 2A(20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ONにならない (シガープラグコードのランプが点灯しない) 場合は、シガープラグコードのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

- ① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



- ・別売品のヒューズ交換

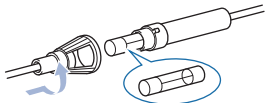
※マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)
※電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) : 交換用ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)
※5V コンバーター付電源直結コード (OP-E1060) : 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000、OP-VMU01>

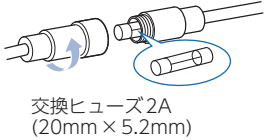
ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



OP-MB4000 : 交換ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)
OP-VMU01 : 交換ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

<OP-E1060>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説 明
解像度 (録画設定)	720P	1280 × 720 の解像度で録画します。
録画コマ数 (録画設定)	27.5fps	1 秒あたり 27.5 コマで録画します。
日時スタンプ (録画設定)	オン	記録映像に、日付や時刻を記録します。
音声録音 (録画設定)	オン	動画と同時に音声も録音します。
上書きモード (録画設定)	全て上書き	SD カード容量の上限に達すると、保護していない古いファイルを上書きします。 (☛ P.22「上書きモードについて」)
G センサ設定 (録画設定)	オン	一定以上の衝撃を検知すると、G センサー記録を行います。 (☛ P.21「G センサー記録」)
G センサ感度 (前後) (録画設定)	1.0G	前後方向の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサ感度 (左右) (録画設定)	1.0G	左右方向の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサ感度 (上下) (録画設定)	1.0G	上下方向の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
画面自動 OFF (共通設定)	オフ	自動で画面を消灯しません。
操作音 (共通設定)	オン	操作音、起動/終了音、イベント記録開始時の音、メッセージの音を鳴らします。
フリッカレス (共通設定)	60Hz	商用周波数を 60Hz (西日本) に設定しています。

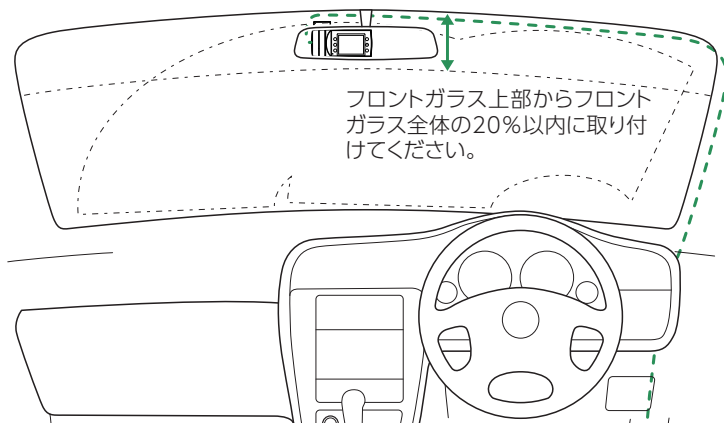
※ 初期値を変更する場合は、☛ P.43 ～ 50「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

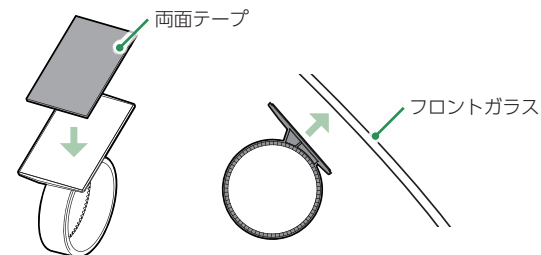
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける



ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

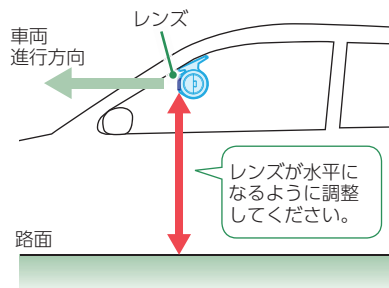
※固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置してください。

※貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットを本体を装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



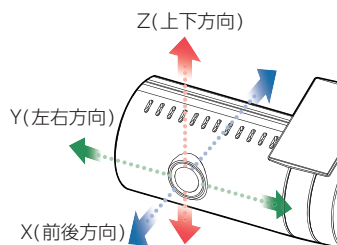
・GセンサーのX(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は、レンズの向きが車両進行方向と水平の状態に固定されています。

※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

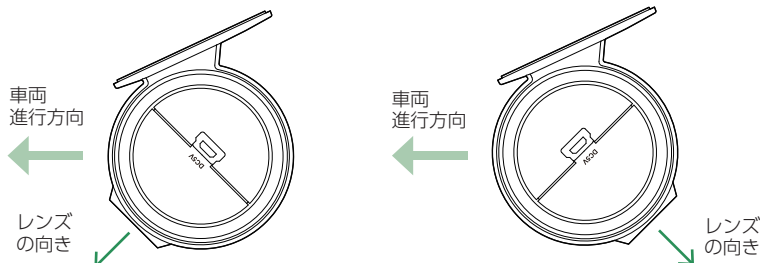
・Gセンサー記録とは…

● P.20「イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)」

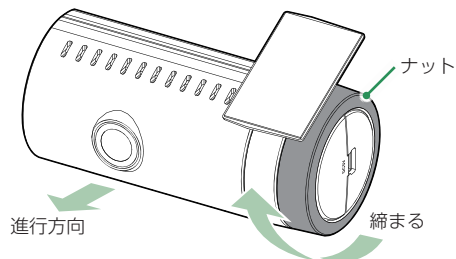
・Gセンサーの数値について



レンズの向きが車両方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。



1-3 ナットを締めて固定する



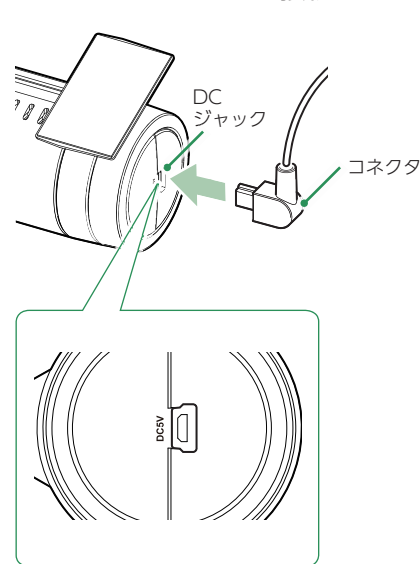
※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2. 電源を接続する

付属のシガープラグコードを接続します。

※別売品で接続する場合は、(● P.30)を参照ください。

2-1 シガープラグコードを接続する

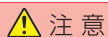


付属のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コードとACアダプター(● P.16「別売品」)をご使用ください。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

別売品の取り付け

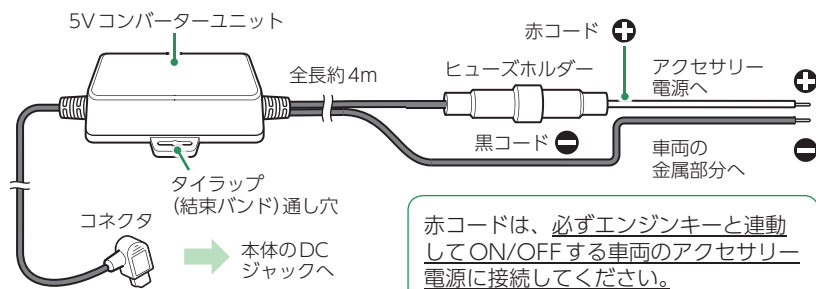


注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 5V コンバーター付電源直結コード(OP-E1060)の接続方法

1-1 電源直結コードを接続する



別売品の電源直結コード(OP-E1060)を本体のDCジャックと車両へ接続します。

- ※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コード、ACアダプターをご使用ください。(P.16)
- ※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。
- ※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

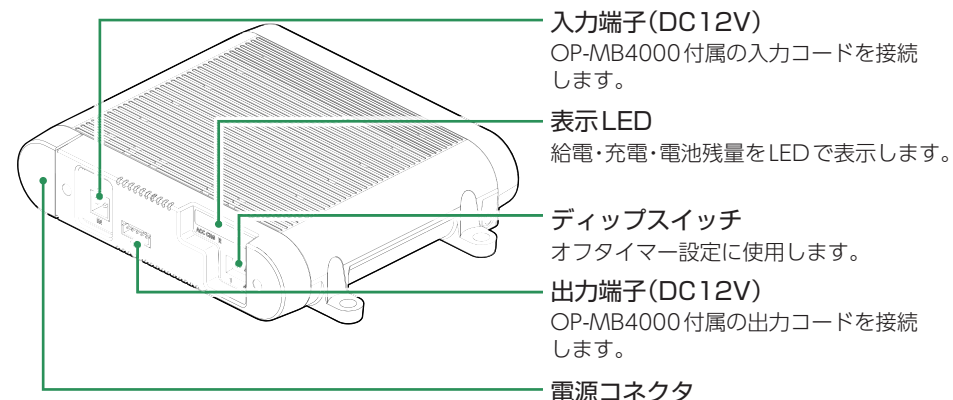
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被服の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。

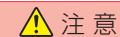
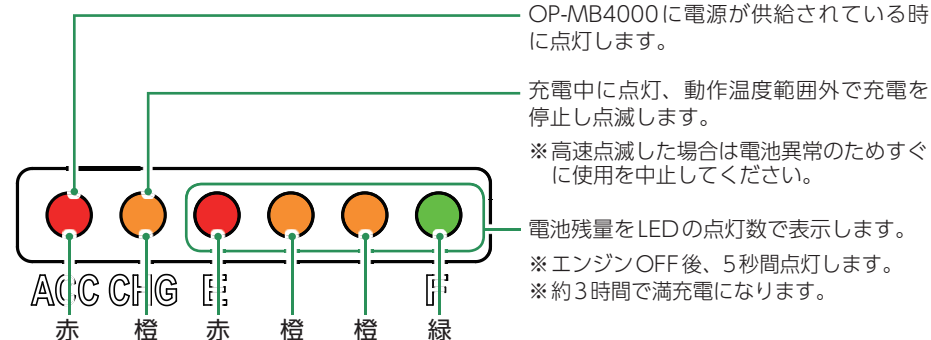
取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



注意

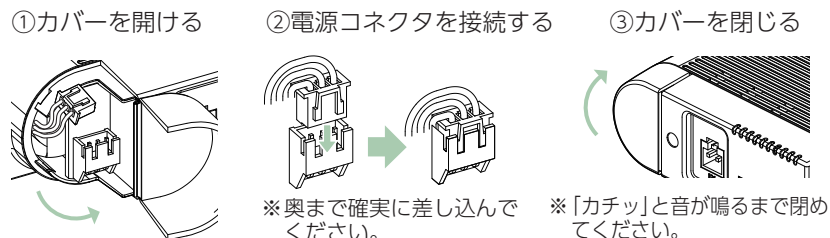
- OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000
- ② OP-MB4000 付属入力コード
- ③ OP-MB4000 付属出力コード
- ④ 5V コンバーター付電源直結コード※1
- ⑤ 市販品接続端子

※1：付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の5V コンバーター付電源直結コード(OP-E1060)が必要になります。

2-1 電源コネクタを接続する



2-2 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。
お買い上げ時(工場出荷時)のままで、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

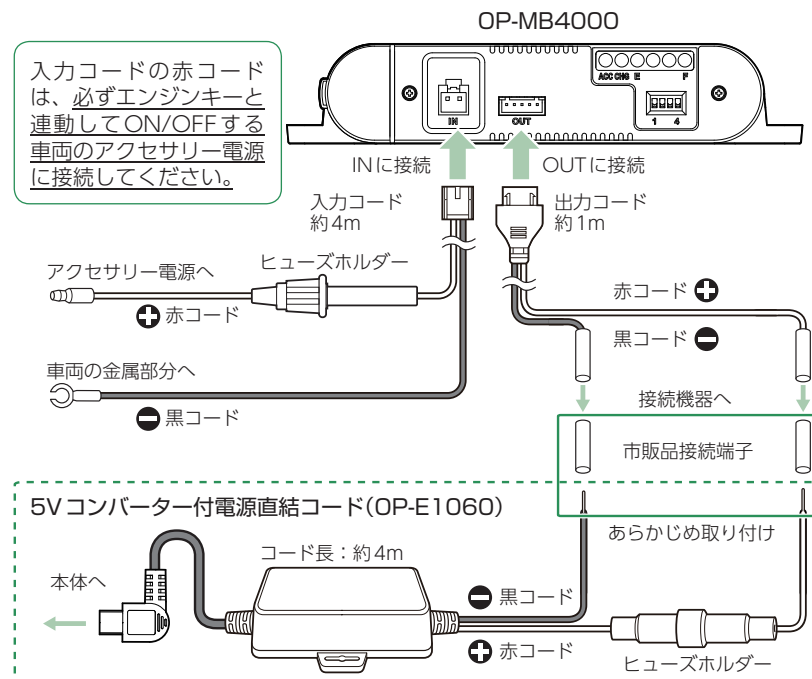
■ オフタイマー設定



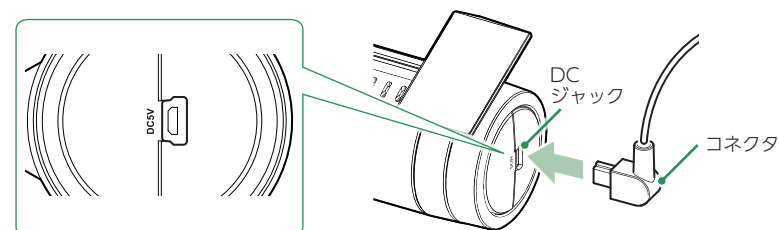
オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-3 OP-MB4000を車両に接続する



2-4 電源直結コードを接続する



別売品の電源直結コード(OP-E1060)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

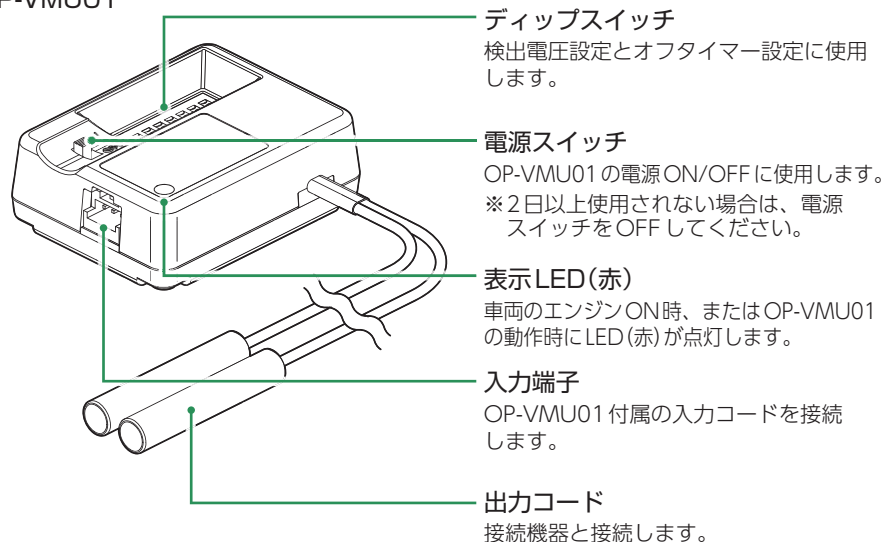
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

■ OP-VMU01

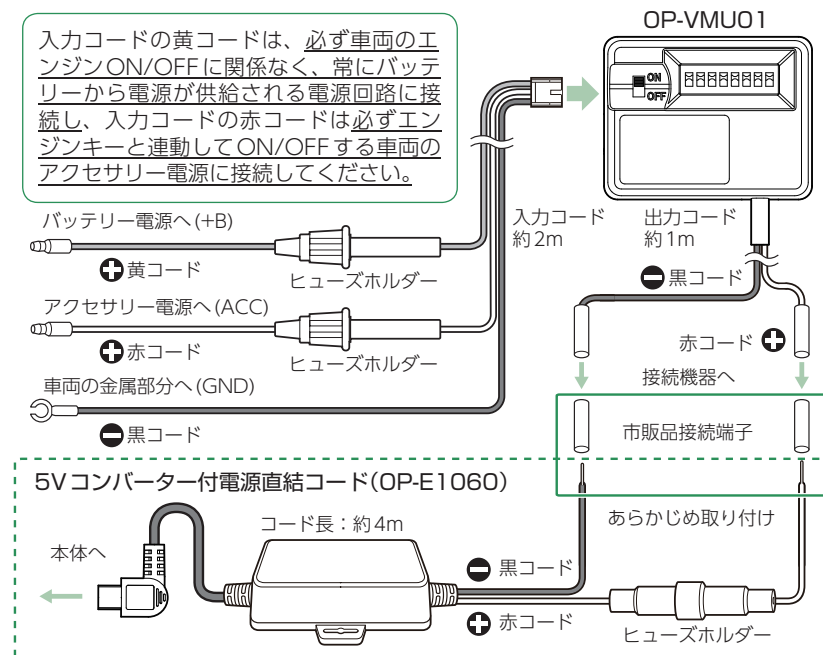


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

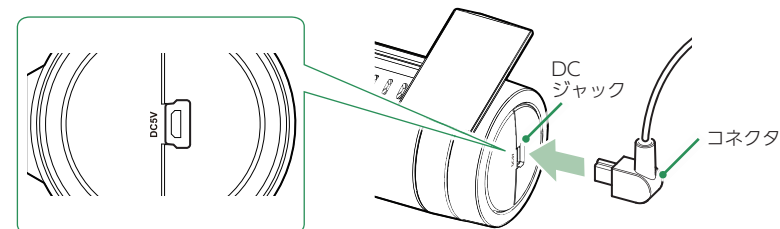
- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード
③ 5V コンバーター付電源直結コード※1 ④ 市販品接続端子

※1：付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の5V コンバーター付電源直結コード(OP-E1060)が必要になります。

3-1 OP-VMU01 を車両に接続する



3-2 電源直結コードを接続する



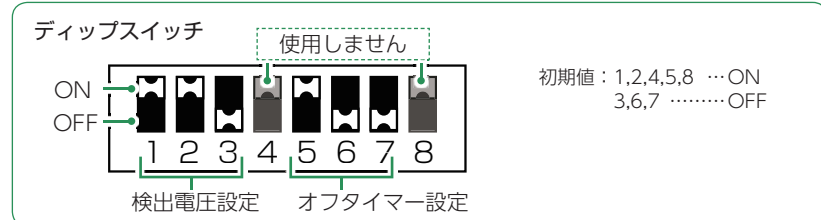
別売品の電源直結コード(OP-E1060)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

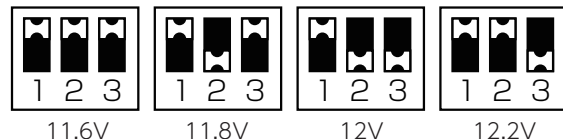
3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

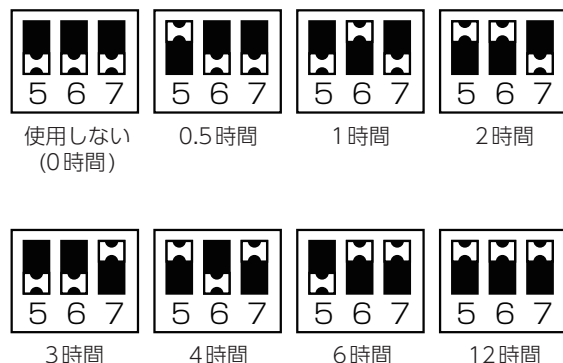
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
 ※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
 ※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



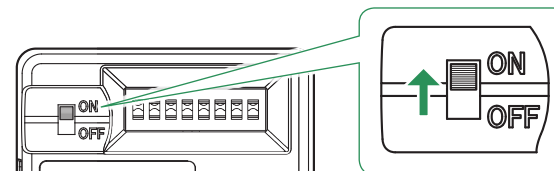
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 電源スイッチをONにする



3-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON



※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON(録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



・SDカードが挿入されていないときは…

電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

➡ P.17「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンを ON する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤色の点灯	録画中
赤色の点滅	録画以外の動作
消灯	電源 OFF

電源ランプが点灯、記録マーク「●REC」(赤)が点滅し、録画を開始します。

※本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。
電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

2. 録画を停止する

2-1 OK ボタンを押す



録画を停止します。

※録画停止中は、電源ランプが点滅し、記録マークは消灯します。

3. SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。

フォーマット方法は、「SDカードをフォーマットする」(➡ P.12)を参照ください。

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

録画ファイルのバックアップ… ➡ P.54「録画ファイルの読み出しについて」

4. 日時を設定する

[日時設定]を選択して、現在の日時を設定してください。

※設定した時刻は、使用するにつれてずれることがあります。1ヶ月に一度、日時設定をし直すことをお勧めします。

4-1 MENU ボタンを押す



・設定メニューが表示されていない場合…

➡ P.43「録画設定メニューを表示する」

4-2 MENU ボタンを押す

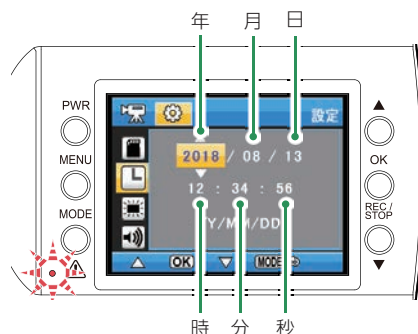


共通設定を表示します。

4-3 [日時設定]を選択し、OK ボタンを押す



4-4 日時を変更する



選択中の項目は ■ で表示します。

・日時設定画面のボタンの機能

ボタン	機 能
PWRボタン	長押しで電源OFFします。
△ボタン	値が増加します。
▽ボタン	値が減少します。
OKボタン	次の項目へ移ります。 例：年→月
MODEボタン	動画記録モードへ戻ります。
MENUボタン	前の画面へ戻ります。

4-5 MODE ボタンを押す



動画記録モードへ戻ります。

5. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプが点灯、記録マーク「●REC」(赤)が点滅します。

5-1 OK ボタンを押す



録画を再開します。

6. ワンタッチ記録をする

本機は、常時録画中にMODE ボタンを押すと、ワンタッチ記録を行います。

6-1 MODE ボタンを押す



ファイルアイコンが点灯します。

※ワンタッチ記録後は、自動で常時録画へ戻ります。

・ワンタッチ記録の詳細は…
● P.20「イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)」

7. 音声録音をすぐにON/OFFする

録画中にMENUボタンを押すと、音声録音のON/OFFを変更することができます。

※録画設定の[音声録音]でON/OFFを変更することもできます。(P.46)

7-1 MENUボタンを押す

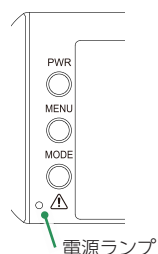


MENUボタンを押すたびに、音声録音のON/OFFが変更できます。

8. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

8-1 車両のエンジンをOFFする、またはPWRボタンを長押しする



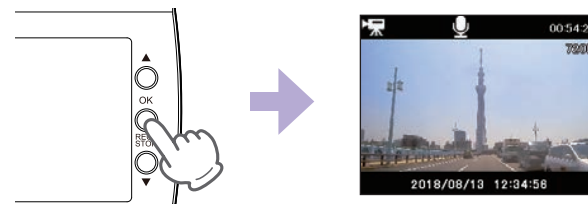
録画が停止し、電源OFFになります。

※電源OFFでは、電源ランプは消灯します。

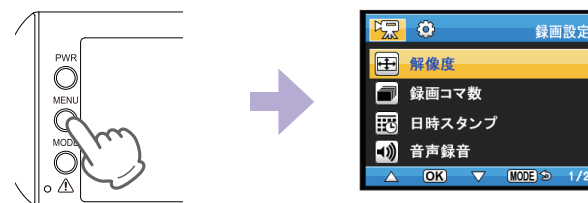
設定メニューの表示方法

1. 録画設定メニューを表示する

1-1 本体の電源ONを確認し、録画中の場合はOKボタンを押して録画を停止する



1-2 MENUボタンを押す



録画設定メニューを表示します。(P.46)

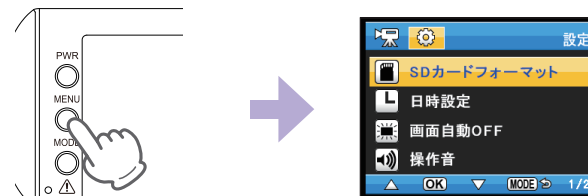
※MENUボタンを押すと、「録画設定」→「共通設定」→「動画記録モード」に移動します。

2. 共通設定メニューを表示する

※再生設定メニューからも表示できます。(P.44)

2-1 手順「1-1 ~ 1-2」を行う

2-2 MENUボタンを押す

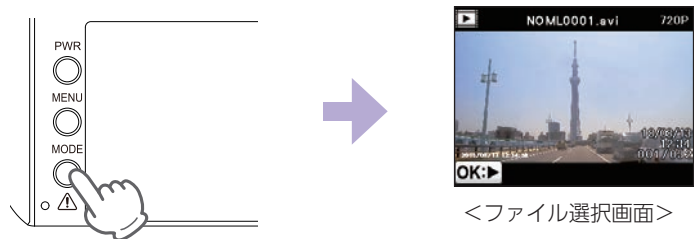


共通設定メニューを表示します。(P.49)

3. 再生設定メニューを表示する

3-1 P.43手順「1-1」を行う

3-2 MODE ボタンを押す



動画再生モードのファイル選択画面を表示します。

3-3 ファイルを選択し、MENU ボタンを押す



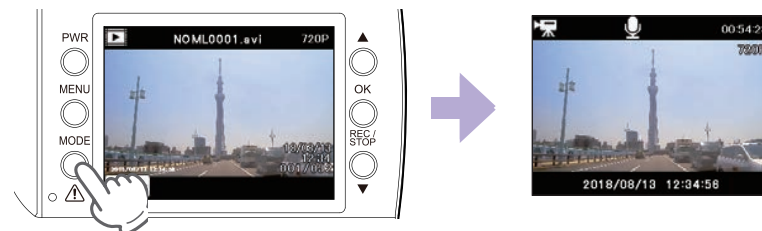
再生設定メニューを表示します。

※MENU ボタンを押すと、「再生設定」→「共通設定」→「動画再生モード」に移動します。

4. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

4-1 ファイル選択画面で、MODE ボタンを押す



動画記録モードを表示します。

※再生設定メニューを表示していた場合、MODE ボタンを押すと、動画再生モードを表示します。再度、MODE ボタンを押すと、動画記録モードを表示します。

4-2 OK ボタンを押す



録画を再開します。

録画を再開すると、電源ランプが点灯、記録マーク「●REC」(赤)が点滅します。

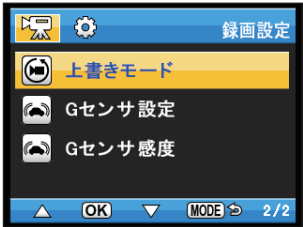
設定メニュー

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機 能
PWRボタン	押すと電源ON、長押しで電源OFFします。
MENUボタン	画面を切り替えます。 例：「動画記録モード」→「録画設定」→「共通設定」→「動画記録モード」
MODEボタン	動画記録モードまたは、動画再生モードに戻ります。
△ボタン	項目や設定値を選択します。 現在選択されている項目が黄色い枠で囲われます。
OKボタン	項目や設定値を決定します。
▽ボタン	項目や設定値を選択します。 現在選択されている項目が黄色い枠で囲われます。

1. 録画設定

動画記録モードの設定を確認または変更します。
※設定メニューの表示方法は P.43 を参照ください。



★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
解像度	720P(1280 x 720) (★)	録画の解像度を設定します。
	VGA (640 x 480)	
録画コマ数	10fps	1 秒間あたりのコマ数を設定します。
	20fps	
	27.5fps (★)	
日時スタンプ	オフ	記録映像に、日付や時刻を記録するかオン/オフで設定します。
	オン (★)	

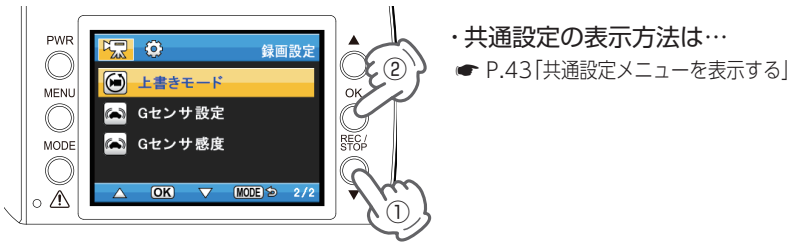
項 目	設 定	説 明
音声録音	オフ	動画と同時に音声も記録するかオン/オフで設定します。 ※録画中にMENUボタンを押すことでも変更することができます。(P.42)
	オン (★)	
上書きモード (P.22)	上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。 上限に達した場合、それぞれの記録方法の録画を停止します。
	常時録画上書き*1	それぞれの記録方法で上限に達した場合、常時録画ファイルから自動削除して上書きされます。 イベント記録ファイルが上限に達しても、上書きされません。
	全て上書き*1 (★)	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
Gセンサ設定	オフ	Gセンサー記録を使用するかオン/オフで設定します。
	オン (★)	
Gセンサ感度	前後：0.5 ～ 5.0G (1.0G ★)	前後方向、左右方向、上下方向の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。 感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	左右：0.5 ～ 5.0G (1.0G ★)	
	上下：0.5 ～ 5.0G (1.0G ★)	

※1：保護したファイル(P.53)は上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、保護を解除(P.51)してから削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(P.12)

初期値では[全て上書き]のため常時録画、イベント記録の古い録画ファイルは上書きされます。上書きされたくない場合は設定を変更してください。

■ 上書きモードを[常時録画上書き]に設定する場合

1-1 [上書きモード]を選択し、OKボタンを押す



1-2 [常時録画上書き]を選択し、OKボタンを押す



設定が保存され、録画設定画面へ戻ります。
※ MENU ボタンまたは MODE ボタンを押すと、設定を変更しないで前の画面へ戻ります。

2. 共通設定

本機の全モード共通の設定を確認または変更します。
※設定メニューの表示方法は ☛ P.43 を参照ください。



★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
SDカードフォーマット	—	SDカードを初期化(フォーマット)します。(☛ P.12) ※保護されたファイルも消去します。
日時設定	—	日付や時刻を設定します。(☛ P.39)
画面自動OFF	オフ(★) 1分 3分	設定時間が経過すると、画面表示を自動的にOFFします。 画面を表示させる場合は、各ボタンを押してください。
操作音	オフ オン(★)	操作音、起動/終了音、イベント記録開始時の音、メッセージの音を鳴らすかオン/オフで設定します。 ※オン/オフを個別に設定することはできません。
フリッカレス	50Hz 60Hz(★)	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz、西日本：60Hz 記録撮影時に蛍光灯などのちらつきを防止し記録します。
設定初期化	キャンセル 実行	本機をご購入時の設定に戻します。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

■ 画面自動OFFを[1分]に設定する場合

2-1 [画面自動OFF]を選択し、OKボタンを押す



・共通設定の表示方法は…
☛ P.43「共通設定メニューを表示する」

2-2 [1分]を選択し、OKボタンを押す



設定が保存され、共通設定画面へ戻ります。
※MENUボタンまたはMODEボタンを押すと、設定を変更しないで前の画面へ戻ります。

3. 再生設定

録画ファイルの消去・保護を行います。
※設定メニューの表示方法は ☛ P.43 を参照ください。



項 目	設 定	説 明
消 去	消去	録画ファイルを個別に削除します。 ※MENUボタンを押すと再生設定に戻ります。
	全消去	録画ファイルを全て削除します。 ※保護されたファイルは消去されません。
ファイル保護	保護	録画ファイルを個別に保護または保護解除します。 ※MENUボタンを押すと再生設定に戻ります。
	保護解除	
	全保護	録画ファイルを全て保護、または保護解除します。
	全保護解除	

■ 常時録画の録画ファイルを個別に削除(消去)する場合

※保護したファイルとイベント記録ファイルは、削除できません。保護を解除するか、SDカードをフォーマットする(☛P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。

3-1 ☛ P.44手順「3-1 ～ 3-3」を行う

ファイル選択画面で選択した録画ファイルを個別で削除します。

3-2 [消去]を選択し、OK ボタンを押す



・再生設定の表示方法は…
☛ P.44「再生設定メニューを表示する」

3-3 [消去]を選択し、OK ボタンを押す



3-4 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



ファイルが削除され、動画再生モードに戻ります。

録画ファイルを一括で削除するには…

録画したファイルを一括で削除したい場合は、SDカードのフォーマットを行ってください。(☛P.12)

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。

■ 常時録画の録画ファイルを個別に保護する場合

3-1 ☛ P.44手順「3-1 ～ 3-3」を行う

ファイル選択画面で選択した録画ファイルを個別で保護します。

3-2 [ファイル保護]を選択し、OK ボタンを押す



・再生設定の表示方法は…
☛ P.44「再生設定メニューを表示する」

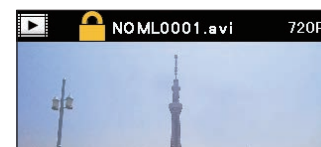
3-3 [保護]を選択し、OK ボタンを押す



3-4 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



※保護したファイルは、動画再生モード上で、🔒 アイコンを表示します。



ファイルが保護され、動画再生モードに戻ります。

保護を解除する場合は、手順「3-2」で[保護解除]を選択してください。
保護を解除すると、動画再生モード上の🔒 アイコンの表示が消えます。

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像や画像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

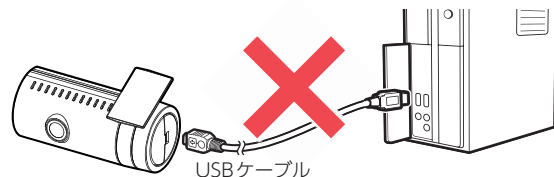
OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU : Core2Duo相当、2.0GHz以上

メモリ : 2GB 以上

推奨の再生ソフト : Windows Media Player(Windows 標準)^{※1}

※1 : Windows7は現在最新版のバージョン(12.0.XXX)でご使用ください。(2018年6月現在)



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

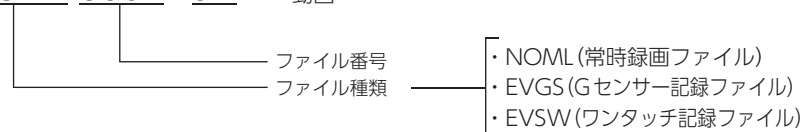
※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル種類、ファイル番号がファイル名になります。

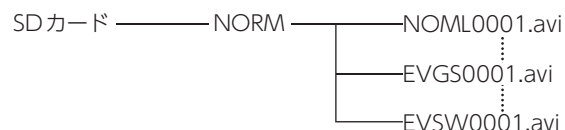
※ファイル番号(0001～0500)範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。

例 : NOML 0001 . avi — 動画



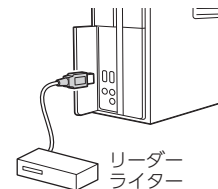
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。



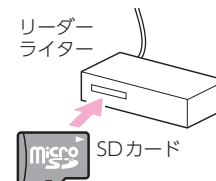
1. パソコンで録画ファイルを再生する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードをリーダーライターに接続する



1-3 SDカードを開き、フォルダを開く



1-4 録画ファイルをダブルクリックする

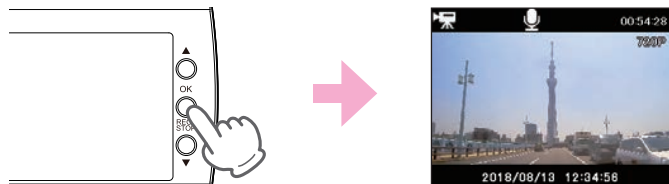


Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

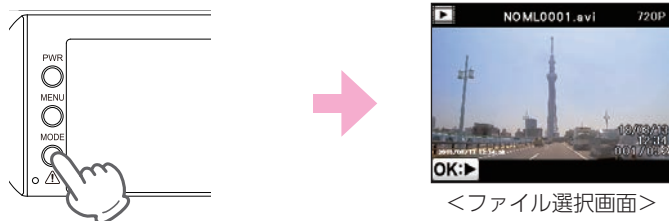
動画再生モードの表示・再生方法

1. 動画再生モードを表示する

- 1-1 本体の電源 ON を確認し、録画中の場合は OK ボタンを押して録画を停止する



- 1-2 MODE ボタンを押す

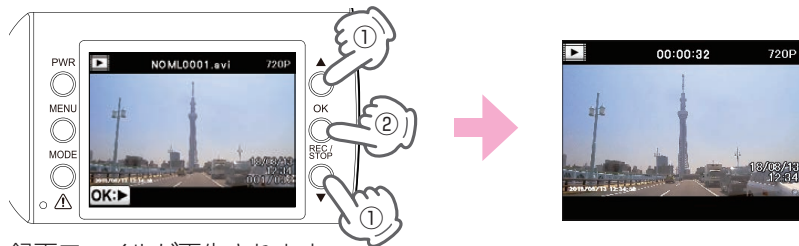


動画再生モードのファイル選択画面を表示します。

※MODE ボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「動画再生モード」にモード変更します。

2. 本機で録画ファイルを再生する

- 2-1 再生したいファイルを選択し、OK ボタンを押す



録画ファイルが再生されます。

再生時のボタン機能は P.58 を参照ください。

※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。

※動画は1ファイル単位(約1分間)で記録されています。

※1ファイルの再生が終了すると、ファイル選択画面に戻ります。本機上で、複数ファイルの連続再生はできません。

※保護しているファイルには、ファイル選択画面で、「🔒」が表示されます。
ワンタッチ記録されたファイルには「M」、Gセンサー記録されたファイルには「G」が表示されます。

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

- 3-1 OK ボタンを押す

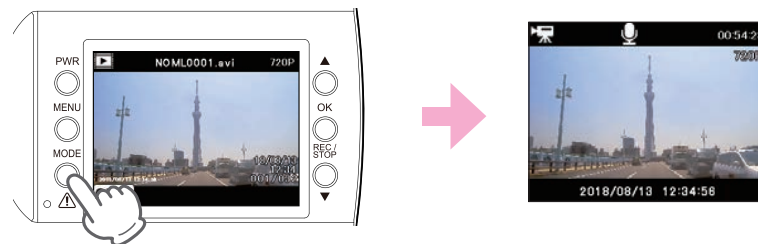


録画ファイルが一時停止します。

※MODE ボタンを押すとファイル選択画面に戻ります。

4. 録画を再開する

- 4-1 ファイル選択画面で、MODE ボタンを押す



動画記録モードを表示します。

- 4-2 OK ボタンを押す



録画を再開します。

録画を再開すると、電源ランプが点灯、記録マーク「●REC」(赤)が点滅します。

動画再生モード

動画再生モードでは、録画ファイルを本体で再生できます。

※動画再生モードの表示方法は ● P.56 を参照ください。



No.	表示名	説 明
①	モードアイコン	動画再生モードのアイコンを表示します。
②	記録映像	選択した録画ファイルを再生します。
③	日時スタンプ	録画ファイルの映像に撮影日時を表示します。 ※設定で日時スタンプの表示を[オフ]にすることができます。 (● P.46)
④	再生時間	再生中の録画ファイルの現在時間を表示します。
⑤	解像度	再生中の録画ファイルの解像度を表示します。
⑥	日付/時間	再生中の録画ファイルの撮影日時を表示します。

■ 動画再生モード時のボタンの機能

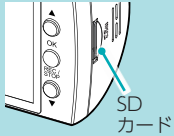
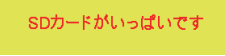
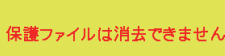
ボタン	動 作	機 能
PWR ボタン	押すと電源 ON、長押しで電源 OFF します。	
MENU ボタン	ファイル選択時に押すと再生設定を表示します。(● P.51) もう一度押すと「共通設定」を表示します。	
MODE ボタン	動作モードを変更します。 ファイル選択時に押すと前の画面に戻ります。	
△ ボタン	ファイル選択時 ファイル再生時	前のファイルを表示します。 音量を上げます。
OK ボタン	ファイル選択時 ファイル再生時	選択を決定します。 再生、一時停止を解除します。
▽ ボタン	ファイル選択時 ファイル再生時	次のファイルを表示します。 音量を下げます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音でお知らせします。

※操作音を[オフ]に設定している場合、音は鳴りません。

※下記のメッセージが頻繁に表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

メッセージ	対処方法
 [SDカードを挿入して下さい] + SDカード未挿入アイコン	☐ SDカードが正しく挿入されていますか。 (● P.17) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動的に再起動します。 
 [SDカードがいっぱいです]	☐ ファイル容量がSDカード容量の上限に達しています。 録画ファイルを削除し、SDカードの空き容量を増やすと お使いいただけます。 また、表示が頻繁に出る場合は、下記をご確認ください。 ・録画設定の解像度を下げる。(● P.46) ・上書きモードを変更する。(● P.46) ・容量が大きいSDカードで本機を使用する。 ※メッセージ表示を止める場合は、OK ボタンを押してください。
 [保護ファイルは消去できません]	☐ 保護を解除する(● P.51)か、SDカードをフォーマット する(● P.12)ことで録画ファイルをすべて削除する ことができます。

■ リセットボタンについて

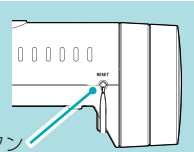
画面が固まって
動かない

ボタンを押して
も反応しない

こんなときは

リセットボタンを押して
再起動してください。

リセットボタン



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
シガープラグの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



映像が記録できない

- 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(☛ P.51)か、SDカードをフォーマットする(☛ P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。

保護したファイルには、ファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。



<ファイル選択画面>

Gセンサーが反応しない

- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.20)

モニター画面に斑点や輝点がある

- 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

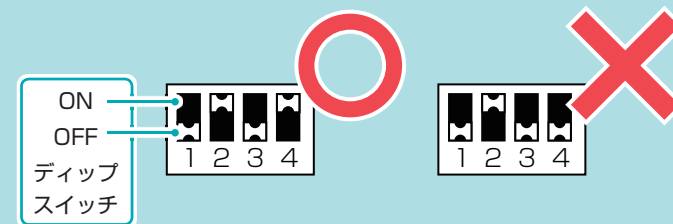
電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(☛ P.37)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.36)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.32)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

例:オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



仕 様	
外形寸法 (突起部除く)	98 (W) × 45 (直径) mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット (テープ貼付) 装着時 58 (H) mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	約 67g (microSD カード含む)
記録媒体	microSD カード (8GB 付属) 8GB ~ 32GB (Class6 以上)
撮像素子	100 万画素カラー CMOS
レンズ画角	対角 105°
最大記録画角※ ¹	対角 105° (90° (水平)、50° (垂直))
記録解像度	最大 100 万画素 720P (1280 × 720) / VGA (640 × 480)
GPS	無
G センサー	有 0.5G ~ 5.0G (0.1G 単位で感度調整可能)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録 < 手動録画 >)
録画ファイル構成	1 分単位
画面サイズ	2.0 インチ フルカラー TFT 液晶
音声	ON / OFF 可能
フレームレート	27.5 コマ / 秒、20 コマ / 秒、10 コマ / 秒
映像ファイル形式	AVI
記録映像 再生方法	Windows 標準の Windows Media Player
電源電圧	DC12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	0℃ ~ + 60℃
製品保証期間	1 年 (消耗品は除く)

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

別売品：マルチバッテリー (OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大 6A)
出力電圧	出力端子 B: 12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V / 4,000mAh
動作温度範囲	0 ~ 45℃
外形寸法	144 (W) × 33 (H) × 131 (D) mm (突起部除く)
本体重量	約 950g (内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V / 24V
出力電圧	DC12V / 24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V 車: 11.6V / 11.8V / 12V / 12.2V、24V 車: 23.6V / 23.8V / 24V / 24.2V
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
動作温度範囲	-10 ~ 60℃
外形寸法	46 (W) × 36 (H) × 16 (D) mm (突起部除く)
本体重量	約 34g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8 ～ 32GB
SD スピードクラス	Class 6 以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

※録画コマ数：27.5 コマ / 秒の場合

SD カード容量	720P	VGA
32GB	約 220 分	約 520 分
16GB	約 110 分	約 260 分
8GB(付属品)	約 55 分	約 130 分

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※上記値は、常時録画、イベント記録 (G センサー記録とワンタッチ記録) の全ての録画時間の合計です。常時録画を記録できる時間は、上記値の約 65% です。(● P.21「ファイル容量の目安について」)

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度 (● P.46) により録画可能時間は変化します。

索引

記号

△ボタン	15,40,46,58
▽ボタン	15,40,46,58

A

ACアダプター	16
---------	----

D

DCジャック	14
--------	----

G

GPS	62
G センサー	62
G センサー記録	21
G センサ感度	21,47
G センサ設定	47

M

MENU ボタン	15,18,40,46,58
MODE ボタン	15,18,40,46,58

O

OK ボタン	15,18,23,40,46,58
OP-E368	16
OP-E863	16,24,30
OP-E1060	16,24,30
OP-MB4000	16,24,31,63
OP-VMU01	16,24,34,63

P

PWR ボタン	15,18,40,46,58
---------	----------------

S

SDカード	10,15,17,64
SD スピードクラス	64

あ

アフターサービス	66
----------	----

い

イベント記録	19,20
--------	-------

う

上書き禁止	22,47
上書きモード	22,47,48

え

映像ファイル形式	62
----------	----

お

お客様ご相談センター	66
音声	62
音声録音	18,42,47

か

外形寸法	62
解像度	18,46,58
画面サイズ	62
画面自動 OFF	49,50

き

記録解像度	62
記録時間	18
記録媒体	62,64
記録方式	62
記録マーク	18

さ

再生方法	62
最大記録画角	62
撮影素子	62

し

シガープラグコード	15,24,29
消去	51,52
常時録画	19,20
常時録画上書き	23,47
消費電力	62
シリアルナンバー	14

す

スピーカー	14
全て上書き	23,47

せ

製品保証期間	62
設定初期化	49

そ

操作音	49
-----	----

て

電圧監視機能付 電源ユニット	16,24,34,63
電源直結コード	16,24,30
電源電圧	62
電源ランプ	14,38

索引

と

動画記録モード	18
動画再生モード	56,58
動作温度範囲	62

な

ナット	14
-----------	----

に

日時スタンプ	46,58
日時設定	39,49

は

バージョン	49
バックアップ機能	11

ふ

ファイルアイコン	18
ファイル保護	51,53
ファイル容量	21
フォーマット	12,49
付属品・別売品の購入	16
ブラケット	14,15
フリッカレス	49
フレームレート	62

ほ

本体重量	62
------------	----

ま

マイク	14
マルチバッテリー	16,24,31,63

め

メンテナンス	24
--------------	----

よ

容量	64
----------	----

り

リセットボタン	14,59
---------------	-------

れ

レンズ	14
レンズ画角	62

ろ

録画コマ数	46
録画時間	64
録画ファイル構成	62

わ

ワンタッチ記録	21,41
---------------	-------